市長ふれあい訪問⑦

市内で活躍している団体や地域に貢献している団体などを市長が訪問します

八潮市青耕会

10月23日、伊草保育所で、食育推進事業「ハッピーこまちゃん保育所訪問」が行われました。この事業に協力いただいている「八潮市青耕会」を多田市長が訪問しました。

市長　活動状況について教えてください。

青耕会は、農家の若手による次代を担う農業集団です。

市民まつりでの餅つきや小松菜の無料配布、農業祭では餅つき、野菜の即売などを行い、農業を身近に感じていただくような活動をしています。また、年1回の研修旅行では、先進的な会社を訪問し、新技術やビジネスのやり方を学んだりしています。

近年は、食育という形での活動が主軸になっています。

市長　食育はいつ頃から始まったのですか。

7・8年続けています。最初は、小学校3年生の社会科の授業で地域産業を紹介するというような形で始まりました。

市長　食育のねらいはどのようなことですか。

野菜の栄養価を伝え、小松菜のPR活動も含めて、小さい子どもたちにも小松菜を知ってもらうことがねらいです。また、保育所では、子どもたちが種をまき、途中経過を観察しながら、最後は、収穫して一緒に給食を食べ、野菜の生育の楽しさを感じてもらいます。自分で育てた野菜を良く食べ、楽しく食事ができる、そのような様子を見ると会としても活動が有意義であったと感じます。

市長　子どもたちにとって良い勉強になりますね。これからもこの活動などを通じて、八潮の小松菜のPRをしていただければと思います。

いきやしお写真館

小中一貫教育「はばたき2012」授業公開

10月27日、大原中学校で、保護者や地域の方に授業を公開する「はばたき２０１２」授業公開が行われました。

大曽根小学校、大原小学校、大瀬小学校の先生との合同授業、近隣の県立高等学校６校の先生による学校紹介や商業の授業などバラエティーにとんだ授業が展開されました。

生徒は、いつもと違う雰囲気に緊張感をもって、授業に臨んでいました。

高校生が広報紙を配布

10月10日、八潮駅前で、「広報やしお10月号」を八潮高校と八潮南高校の生徒11人が配布しました。

広報やしお10月号には、同世代に共感の得られる市政情報を提供し、若者層の市政への関心を深めていただくため両校の生徒が編集した紙面があり、「私たちが作った広報紙を、ぜひ、お読みください」と大きな声で呼びかけながら、駅利用者などに手渡していました。

ひねる時は緊張の瞬間

10月21日、八幡公民館で、公民館幼児家庭教育学級「子どもが喜ぶバルーンアート」が開催されました。

この講座には、親子連れや子育て・孫育てに関心のある方々約40人が参加しました。

初めてペンシルバルーンをひねる時は「割れてしまうのではないか」という緊張した面持ちでしたが、次第に慣れた手つきになり、犬や熊、ウサギなどの動物を作りました。受け取った子どもたちはとても喜んでいました。

「いざという時」の応急手当を学ぶ

10月27日、消防本部で、上級救命講習会が行われ、17人が受講されました。

既に普通救命講習会を受講された方が更なる技術の向上を目指して、成人・小児・乳児に対する心肺蘇生法やＡＥＤの使い方を始め、けがをしたときの手当ての要領や搬送法なども学びました。

「いざという時」正しい応急手当が行えるよう、皆さん真剣に受講され知識と技術を習得しました。

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いていない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内9カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、12月9日（日）です。